

第51回 九州保育団体合同研究集会鹿児島集会

集会テーマ

“平和なくして保育なし”
～つながり学ぶおとなたちから
希望の花束を子どもたちへ～

第51回九州保育団体合同研究集会 鹿児島集会のご案内

実行委員長 黒川 久美

2022年2月24日のロシアによるウクライナ軍事侵襲から1年が経過した今も戦いが収まる兆しは見えません。この瞬間にも日常が一瞬にして破壊され、かけがえのない命が奪われています。子どもたちの恐怖や不安、悲しみはどれほど大きいことでしょうか。ロシアの侵略に反対し、平和を願う声は世界中に広がっています。ところが、岸田政権による大軍拡の危険な暴走により、日本が「戦争する国」に変えられようとしています。“新しい戦前”にさせないために、憲法九条を守り、いかず運動を掲げていきたいものです。

九州合研は半世紀にわたって、「子どもたちのいのちと平和を守り、子どもの権利を尊重した保育」を求めて保育実践・研究・運動を進めてきました。子どもの発達保障には「安心・安全な保育・子育ての土壌」こそが必要です。50年間引き継がれてきた九州合研のこの思想を、今、改めて、確認し合う時ではないか——その思いを込めて、メインテーマを“平和なくして保育なし”としました。そしてサブテーマ～つながり学ぶおとなたちから 希望の花束を子どもたちへ～には、九州合研で保育者・保護者・研究者など子どもに関わる人たちがつながって学び合うことをとおして、希望の花束を子どもたちに手渡す、そういう鹿児島集会にしたいという願いを込めました。

さあ、平和と希望の花束を子どもたちに手渡す集会を一緒に創っていきましょう！
 オンラインのメリットをいかし、初めての人もたくさん誘って参加しましょう！
 お待ちしています。



日程 2023年9月2日(土)～3日(日)・10日(日)

- 今集会はオンラインで開催いたしますので、会場は設置いたしません。
- 今集会に関する情報は、第51回九州保育団体合同研究集会 鹿児島集会 HP をご覧ください。

<http://www12.plala.or.jp/hoiku/q/51/index.html>



スケジュール

13:00

16:00

| 9/2(土) | | | | 開会集会・記念講演 | | | 講座の録画配信開始 |
|------------|-------------|-------------|---|-------------|---|-------------|-----------|
| 9/3(日) | 分科会(3日開催分) | 休 | 憩 | 分科会(3日開催分) | 休 | 閉 | |
| | 市民講座Ⅰ | | | 市民講座Ⅱ | | | |
| 9/10(日) | 分科会(10日開催分) | | | 分科会(10日開催分) | 憩 | 会 | |
| 9:30 10:30 | | 12:00 13:00 | | 14:30 15:00 | | 15:15 16:00 | |

開会集会 2日(土) 13:00～14:00
録画配信/後日録画配信あり

記念講演 2日(土) 14:00～16:00
録画配信/後日録画配信あり

●歓迎行事

ようこそ！鹿児島集会へ！オンライン集会の今回、オンラインの良さをいかし、鹿児島の子どもの姿、鹿児島の保育の様子を、子どもたちの歌声とともに、メッセージビデオとして上映します。どうぞお楽しみに！

●基調提案

3年にわたるコロナ禍を通して、保育・子育てのあり様について、私たちは大切なことは何かをどうつかんできたでしょうか。日本や世界の情勢が大きく変わっていきなで、子どもたちが「安心・安全」に育ちあう保育・子育ての価値を誰しもが考えたのではないのでしょうか。基調提案では、日本の保育・子育ての現状をとらえ、私たちが求める保育はどうあったらよいのかを、さまざまな実践や取り組みを取り上げ、そこから引き出される保育・子育ての諸原則を提案します。みなさんも一緒に考えていただき、明日からの保育に希望が持てる基調提案にしたいと考えています。

**「憲法九条を活かした政治を子どもの未来に
 ー岸田政権の戦争する国づくりを阻止するためにー」**

講師 **小森陽一** さん

(東京大学名誉教授 全国「九条の会」事務局長 和光学園理事長)
 国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の3つを基本原理とする日本国憲法が施行されて76年目となる今年1月、通常国会の所信表明演説で、岸田首相は事実上の憲法九条破壊となる大軍拡方針を明確にしました。「敵基地攻撃能力」を始めとする、日本の自衛隊がアメリカ軍と一体となった軍事行動が可能になる、きわめて危険な戦争する国づくり政策です。今育てている子どもたちが大人になるとき、日本が戦争する国となり、戦場へかり出されていくような状況にしてはなりません。あらためて憲法九条違反の軍拡政治を批判し、政治を変える運動を全国で掲げていく必要があります。保育の現場から日本国憲法を守りいかず政治を実現する取り組みを、父母と協力しながら大きく掲げていきましょう。

講座 録画配信 <9/2 16:00 ~ 9/30 予定>

講座A 集団づくり入門講座『実践から学ぶ「集団づくり」』

講師：協信明（長崎大学）
子どもは子ども集団をくぐって成長するものです。子どもたち同士の日々の関わりでは、さまざまなトラブルもあります。しかし、そこをバネに互いを理解し認めあう関係をつくるチャンスでもあります。そういったなかで子どもたちは対等・平等な関わりを学び取っていきます。この講座では、具体的な事例を紹介しつつ「集団づくり」の基礎を学んでいきましょう。

講座イ 乳児保育入門講座『乳児保育で大切にしたいこと～乳児の世界を彩り豊かに、そして、子どもたちが気持ちよく暮らせるために～』

講師：菱谷信子（精華女子短期大学名誉教授）
乳児が毎日をゆったりと安定した気持ちで暮らし、幸せに暮らせるようにするために、保育者は乳児にどのようにかわかり、何を大切にしていけば良いのでしょうか？

今、乳児クラスでの虐待・不適切な保育問題の報道に、心を悩まされている保育者や保護者の方もたくさんいらっしゃるのではないかと思います。こんな時だからこそ、乳児保育を楽しく実践できるよう、今までの実践を振り返りながら、乳児保育で何を大切にしていけば良いか一緒に考え合いきましょう。

講座ウ 異年齢保育入門講座『異年齢保育新段階―年齢幅のある暮らしの保育へ』

講師：宮里六郎（熊本学園大学名誉教授）
異年齢保育は過疎地等の「条件の異年齢保育」だけでなく都市部の「理想的異年齢保育」まで量的に広がっています。また多様で双方向的な「3～5歳の異年齢保育」からクラスではなくおうちと呼ぶ「1～5歳の暮らしの保育」まで質的にも深まっています。「なぜ異年齢保育？」から「なぜ同年齢保育しているの？」の問い返し時代に入っています。子どもにとってどんな保育が「安心としあわせ」につながるのか一緒に考えてみましょう。

講座工 保育情勢講座『子どもの定義が問われている～ことも基本法・ことも家庭庁をめぐる』

講師：前田晶子（東海大学）
近年、「子ども」を定義することが容易ではなくなっています。個別の子どもも理解が推奨される一方で、子ども像が多様化し、大人との境界線も曖昧になっています。そんな中、昨年制定されたことも基本法では年齢による定義は明記されず、「心身の発達の過程にある者」とされました。また、ことも家庭庁が内閣府の外局に設置されることで、政策上の子どもの再定義も進んでいくと思われるます。そこで、「子どもの権利」を手掛かりとして、子どもとは何かについて考えたいと思います。

講座オ 子どもの権利保障講座『子どもリスペクト運動とは何か』

講師：山下雅彦（東海大学名誉教授）
「子どもリスペクト運動」とは、2019年の秋から山下が提唱している社会的なムーブメントです。2022年初頭から「子どもリスペクト研究会」（略称：リリス研）が動き出しました。子どもを（人間として）（子どもとして）（個人として）尊重する社会をめざします。運動の核におくのは「権利の行使主体」としての「子どもの権利条約」の子ども観です。本講座では、この運動の源流と契機、実践的課題についてお話しし、こ一緒に深めたいと思います。

講座力 保育者講座『乳幼児期から始める性教育～子どもの人生が豊かに幸せになるように～』

講師：村末勇介（琉球大学・元鹿児島県公立小学校教員）
子どもたちに「からだっていいな」と実感してもらうためには、乳幼児の時期に「あなたからだはあなただけの大切なもの」というメッセージを大人が届けることが大切です。このことは、子ども自身が被害から身を守ることやまわりの人たちと素敵な関係をつくることにもつながります。本講座では、乳幼児期の性教育について、どんな視点でとり組んでいったらよいのか、日常生活の関わりを出発点にして考えてみましょう。

講座キ あそび講座『ワクワク・ドキドキからだあそび』

講師：鐘ヶ江淳一（九州産業大学）
九州合研では、2020年5月に50周年記念企画として『からだあそび145選』（かもがわ出版）を刊行しました。九州各県の54園の保育者によるイチ押しのお遊びが紹介されています。子どもたちは今持っている力を精一杯使いながら、こうしたあそびを何度も何度も繰り返します。そこからこころからの新しい発達の芽が生み出されていきます。本書に掲載されているあそびをもとに、乳幼児期のあそびと発達のみちすじについて考えましょう。

講座ク 療育と発達保障講座『療育と発達保障』

講師：浜田友紀（湧水町子ども発達支援センターみのり）
山口雅子（むきのめ子ども発達支援センターりんく）
療育とは「ていねいな保育」と言われ、子ども一人ひとりの可能性としんどさをていねいに把握し、子どもが楽しさを実感しうる取り組みを創造する営みです。（近藤直子氏）
この講座では、子どもと親の発達を保障するために、「0歳からの親子支援」や「小集団療育での育ちあい（話し合い）の実践」を通して、「療育で大切にしていること」「豊かな生活やあそびの中で、子どもはどう育っていくのか」を皆さんと考えていきたいと思います。

講座ケ 平和について考える講座『平和の文化をつくるー乳幼児期からの平和教育ー』

講師：黒川久美 佐藤和 船越美穂 前原祐子 柳原志州（乳幼児期からの平和教育運営委員）
今、私たちは、戦争がもたらす危機的状況を目の当たりにしています。日々の保育や生活の中で、私たちにできることは何でしょうか。分科会「乳幼児期からの平和教育」は2008年の佐賀集会で発足し、毎年実践が報告されてきました。乳幼児期からの平和教育は決して敷居の高いものではなく、日常の保育を平和の観点から捉え直してみることから始まります。

講座では、これまでの実践に学びつつ、平和の文化をつくることの意味や可能性を問うと共に、明日からの保育に活用できる絵本や教材を紹介します。皆さん、一緒に学んでみましょう。

講座コ ブックレット講座「保育計画と園の行事」『保育計画と園の行事』講師 吾孫子幹 上原真幸 豊永智恵子（保育計画と園の行事運営委員）それぞれの園では園の保育を「表」にした「保育計画」を必ず作成していますし、運動会や発表会などの「園の行事」を行っています。しかし、その営みの「本来の意味」を問い直す機会はありませんのではないのでしょうか。九州合研の「保育計画と園の行事」分科会では、私たちが普段行っている保育計画や行事を見直すことで、日々の保育が豊かになる可能性を、各地の提案をもとに確かめ合ってきました。

2024年度にはその分科会の学びの集大成が、九州合研ブックレット第8弾として発行する予定です。今回の講座では、ブックレットの内容に触れながら、保育の計画や行事において、何を大切にしていけばいいのかを一緒に学び合います。

分科会 オンライン(Zoom)分科会/録画配信なし <9/3・9/10 両日とも9:30～15:00>

① 0歳児保育 開催日:3日

- 0歳児の発達にとって何を大切にしたら良いかについて深め合おう。
- 0歳児の健康、身体づくりにどのように取り組み、どうコミュニケーションを図っていけば良いかについて深め合おう。
- 0歳児の発達を保障するために、どのような条件を整備し、体制をつくっていったらよいかについて深め合おう。

南條恵・田中洋・沼田史・菅原航平

② 1・2歳児保育 開催日:3日

- 1・2歳児の生活と育ちを把握し、発達を保障するために何が求められているか、実践記録をもとに深め合ひましょう。
- 子どもが安心していきいきと過ごすための保育のあり方を、みんなで考え合ひましょう。
- 保育者と子ども、子ども同士の関係づくりと共に、保育者と保護者、保育者同士の関係をどのように築いていくか、探っていきましょう。

小池亜津子・前田晶子・木戸美樹・大津宏美

③ 3歳児保育 開催日:3日

- 3歳児クラスの新年度にどのような配慮が必要となるのか。新入園児だけでなく、2歳児クラスから移行の子どもの意欲と不安への対応について考え合ひましょう。
- 3歳児の生活と育ちをとらえ、見通しを持った保育をどのように行っていくのかについて話し合ひましょう。
- 保育者と子どもとの関係、子ども同士の関係をどのようにつくっていくのかについて学び合ひましょう。
- 保育者同士や保護者との関係をどのようにつくるのかについて探っていきましょう。

阿南寿美子・大元千種・北崎恵理・井上邦子

④ 4・5歳児保育 開催日:3日

- いろいろな大変さを抱えた子どもたちも増えていますが、4・5歳児らしい楽しい活動をくぐり、どの子もクラスの仲間として育ち合う保育実践を学び合ひましょう。
- 子どもの育ちや保育を豊かなものにする為、保護者や地域等をまきこんで行った実践を交流し、学び合ひましょう。
- 進級や就学への接続を見据えた保育をどう進めていくか、話し合ひましょう。

金子幸・末裔雅美・草場慎一

⑤ 異年齢保育 開催日:3日

- 異年齢保育の方法は様々ですが、年齢の枠を超えた、多様な人間関係や学びの中から生まれる子どもの育ちを支える保育と言えるでしょう。この分科会では、いろいろな異年齢保育の取り組みが紹介されますので、参加者の皆さんと一緒に保育を深めていきたいと思ひます。また同時に、広く保育（方法）のあり方を考える場となれば幸いです。

島田知和・坪井敏純・川上隆子・鍋田まゆ・奥村智美

⑥ 保・幼・小の連携と学童保育 開催日:10日

- 保幼小の連携の現状と保育者・保護者・教員の思いや願ひから「私たちはなぜ連携をするのか」「どのような連携をする必要があるのか」「そのような連携をどのように築いていくのか」を考え合ひ、子どもの権利や子どもの最善の利益が保障され、大切にされる連携のあり方について考え合ひましょう。
- 学童保育の実践から学童保育の保育内容を深めるとともに、学童保育と諸福祉施設や機関との保育の縦（保育内容）と横（連携）のつながりについても考え合ひましょう。

鍋倉功・嶺村久美子・大滝喜和子・松村奈留美

⑦ 障がい児保育 開催日:3日

- 障がいのある子どもの生活と保育の実態は、どうなっているのでしょうか。
- 障がいのある子どもの発達を保障する手立てには、どんなことがあるのでしょうか。
- クラスの子どもたちの育ち合ひを、どうつくり出していけばよいでしょうか。
- 保育者と保護者、教育機関の連携はどうあったらよいでしょうか。

米衛政光・石本隆士・渡邊美紀乃・浜田友紀・山口浩明

⑧ 集団づくり 開催日:3日

- 集団づくりは、子どもを集団に押し込めたり型にはめるような保育ではなく、どの子も主体的に活動し、つながりあい認めあう関係性を子ども集団の中に築くための保育を考える分科会です。保育者にとって気になる子や支援を必要とする子どもたちとともに、園での諸活動や日々のトラブルを一緒に解決していく過程で、仲間と生きる民主的な社会の主人公としての知恵と力を出しあう保育を考えていきます。子どもと集団の育ちについて一緒に学び合ひましょう。

協信明・古林ゆり・神崎真由美

⑨ 0・1・2歳児のあそびと生活 開催日:10日

- 0・1・2歳児の発達に応じたあそびの保障とあそびを豊かにするための環境づくりとは。
- 0・1・2歳児の心地よい生活をつくり出す保育のあり方や工夫とは。
- 0・1・2歳児のあそびと生活を充実させる子どもを真ん中の保育者と保護者の良い関係づくりとは等についてみんなで考えましょう。

菱谷信子・川内良子・西本紫舞・小濱田さち子

⑩ 3・4・5歳児のあそびと生活 開催日:10日

- あそびの重要性が再び主張されている今日、幼児はあそびや生活、仕事の取り組みの中で、どのように自分づくりをし、仲間とどのようにあそびや生活や仕事を組織し発展させていったらよいか。
- 九州各地の幼児のあそびや生活、飼育、栽培などの仕事の取り組みを交流しましょう。

山並啓・前田志津子・二子石諒太・松元泰樹

⑪ 子どもの生活と美術・造形(えがく・つくる) 開催日:3日

- 幼児期の豊かな表現活動を引き出すために各実践が何を問題にし、どうということが明らかになったのか具体的に議論します。絵や造形表現のとらえかただけでなく、その指導に対しては様々な考え方や実践方法があるだけに、それぞれの立場を大事に、共通点や相違点を実践の中で確かめていくことも重視しています。

宮本文香・高田百合・甲斐幸恵・石上洋明・宮本千里

⑫ 子どもの生活と音楽(うた・リズム表現) 開催日:10日

- 子どもの心をひらき、うごかし、子どもをそだてる音楽。その音楽をどう子どもに出会わせ、渡し、保育の力にしていくのかを学び合ひましょう。

毛谷村裕子・大石八重・山並さやか

⑬ 子どもの生活と文学(絵本・劇あそび) 開催日:10日

- 子どもたちに絵本やお話の世界の豊かさを伝えるための保育者の役割とは。
- 絵本、お話のあそび方、与え方とは。
- 生きる力になりうる文学とは。

佐伯由佳・八尋理恵・藤本朋美・大井賢太郎

⑭ 子どもの生活と身体づくり・運動 開催日:3日

- コロナ禍を通し、私たちは、友だちと一緒に、身体を動かし、知的機能も積極的に活用するあそびが、子どもたちの育ちにとって大切だということに、改めて気づきました。一方で、運動会、なわとび大会などの行事に向け、子どもは練習に保育者は準備に追われるといった今までの「当たり前」を見直していくきっかけにもなりました。子どもたちがワクワク・ドキドキするようなあそびを、参加者みんなの今までの経験や保育の蓄積に基づいて考えてみましょう。

鐘ヶ江淳一・福井英二・坂本慎也・秋丸順平

⑮ 健康・食・生活リズム 開催日:10日

- 食べることは、生きること、そして保育の中で重要な分野、あふれる食情報の中、食の大切なものを認識しながら、食で困っている親子関係、食情報を提供してきた分科会です。
- アレルギーへの取り組み、衛生問題、離乳食の進め方、食材料の選び方、食育など毎年多くの取り組みが報告されます。

松下賢治・二宮直子・奥村美香・荒木千恵

⑯ 保育計画と園の行事 開催日:10日

- 実践に役立つ保育計画の作成方法や記録の取り方について幅広く学びあう分科会です。また各園の行事（ねらいや内容）についても意見交換します。
- 豊かな保育実践をささえる保育の計画とは、どのような計画なのでしょう。
- コロナ禍における、各園の行事の取り組みの紹介。
- 保育者の合意形成をいかに育むか。
- 書類の作成や会議の時間をどうつくるかの工夫と手立て。
- 提案をもとに、園の悩みや取り組みを相談しあうことで、よりよい保育の可能性を探りあひましょう。

吾孫子幹・上原真幸・豊永智恵子

⑰ 乳幼児期からの平和教育 開催日:3日

- 平和的人間の形成は、現代の教育の原点になるべきものといえます。平和と民主主義が危機にさらされている今、乳幼児期からの取り組みが求められています。平和を愛する心を育む平和教育は、子どもの誕生の瞬間から始まります。おとなに愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも、仲間と話し合う力を培うことも、平和の心を育てることにつながるものです。日常の保育をあらためて平和教育の視点からとらえ直せることから始めていきましょう。
- 現代に生きるおとなとして、平和のためにできることを語り合ひ学び合う分科会と一緒に創っていきましょう。

船越美穂・黒川久美・佐藤和・前原祐子・柳原志州

⑱ 保育政策と保育運動 開催日:3日

- ウクライナ侵攻による物価高騰で子どもの貧困がさらに拡大しています。コロナ禍で少子化が加速されています。保育施設では、「不適切保育」が問題となっていますが、その背景にあるのは、慢性的な人手不足だといわれています。保育所の最低基準は4、5歳児では70年変わっておらず、全国で「もう一人保育士を」運動が展開されています。4月にはこども家庭庁が創設されますが、すでに様々な問題が指摘されています。
- 本分科会では子どもたちに関わる問題や制度政策を様々な施設・立場の人たちで話し合っています。子どもたちが豊かに育つために、何が必要なかを交流し合ひましょう。

建川美徳・吉富利子・愛甲明美・中岡巨

⑲ 子育て支援とつながいづくい 開催日:10日

- コロナ禍を経て、人とのつながり方や関わり方は変わってしまった部分もあるように思ひます。この分科会では、より良い保育・子育てを目指し、「つながり」をキーワードにして、保育者と保護者のつながり、保護者と保護者のつながり、保育者と保育者のつながり、そして地域とのつながりについて、共に考えていくことを目的としています。「つながりづくり」をどう行っていけばいいのか、考えましょう。

小西祐馬・江玉睦美・甲斐清美・藤田一郎・山口雅子

⑳ よいよい職場づくり交流会(園長・主任) 開催日:10日

- 園の運営や職員の集団づくりは園長、主任の大切な役割です。コロナ禍で会議や行事の縮小が余儀なくされ、職員の資質向上のための研修の実施もままならない日々の中、皆さんの園での取り組みを出し合ひましょう。

宮本敦子・長谷裕之・甲斐寛・松木朋子

㉑ 地域型保育等交流会 開催日:10日

- 待機児童もいながら定員割れをしている保育所もあります。特に0歳児の所の申し込みが減っています。そのような状況の中でも、0・1・2歳児の乳幼児専門として保育の質を向上させるため、保護者や管理者、または関わる方々で日々の保育の悩みや疑問点、そして、意見や情報进行交流し、明日からの保育をよりよいものにしていきましょう。
- 小規模保育、家庭的保育、事業所内保育の保育者や子育て支援員、またこれから地域型保育に関わりたいと考えている方、企業主導型保育園の方も是非、ご参加ください。

中村千恵子・佐藤レイ子・渡邊真奈花

市民講座 録画配信（この時間のみの配信になります） <9/3 10:30～14:30>

市民講座Ⅰ『あとあじの悪いコミュニケーションと心地よいコミュニケーション』

講師：清原 浩（鹿児島メンタルサポート研究所所長・臨床心理士）
私たちは、家庭において、また職場において、さらには地域において、その人と会話すると、必ず嫌な感じで終わるような会話をしていませんか？ どうしてそうなるのか、どうしたら、気持ちの良い会話になるのか、一緒に考えてみたいと思います。

市民講座Ⅱ『元気が出る性教育の話』

～包括的性教育で子どもは変わる、大人も変わる～

講師：村末勇介（琉球大学・元鹿児島県公立小学校教員）
新年度から、学校現場では「性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないようにするため」の『生命(いのち)の安全教育』が本格的にスタートします。しかしその内容は、前提となるはずの性に関する科学的な学びのための「性教育」とはなっていません。

現在、国際的には性をトータルに学ぶ「包括的性教育」の有効性が確認され、乳幼児期からの実践が展開されています。子どもたちは「性」を学ぶことで確実に変わり、その姿に出会う大人も元氣になります。わたしが経験してきた、そういういくつかの「ドラマ」を紹介することで、これからの子育てや「おうち性教育」と「学校性教育」とをたのしく創造するためのヒントにして頂けたらうれしいです。

閉会集会 録画配信（後日録画配信あり） <9/3・9/10 15:15～16:00>

九州保育団体合同研究会鹿児島集会は、いかがだったでしょうか。記念講演や講座の録画配信も充実していますので、集会后、ぜひ視聴していただいで学びを深め、明日からの保育や子育てに活かしましょう。2024年は、第56回全国保育団体合同研究会（全国合研）が熊本にて、7月27日（土）～29日（月）開催されます。全国のなかまと共に学び語り合ひましょう！（2024年の九州保育団体合同研究会は休会になります。）

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

閉会集会

◇開催方法について(今集会は全てインターネットによるオンライン集会となります。)

●開会集会・記念講演【録画配信】

録画配信日:9月2日(土)13時00分～16時00分

録画配信期間:初日終了後～9月30日(土)

●講座【録画配信】

録画配信日:9月2日(土)16時00分～

録画配信期間:初日講座終了後～9月30日(土)

●分科会【オンライン(Zoom)のみ】

開催日時:9月3日(日)・10日(日)9時30分～15時00分

※各分科会開催日は「集会要項」の分科会のご案内をご覧ください。

●市民講座【録画配信/この日時のみ視聴できます】

録画配信日:9月3日(日)①10時30分～12時 ②13時～14時30分

●閉会集会【録画配信】

録画配信日:9月3日(日)15時15分～16時00分・9月10日(日)15時15分～16時00分

録画配信期間 9月10日(日)閉会集会終了後から9月30日(土)

◇参加費(事務手数料500円含む)について 支払方法については、別紙《参加申込方法について》をご参照下さい。

一般 5,500円 ●学生 2,500円

●参加申込後、名鉄観光より請求書が送付されますので、所定の期日までにお振込みください。

●振込は銀行振込のみで、クレジットカード決済はできませんのでご了解ください。

◇報告集について

●報告集 1冊1,500円(送料込み) ※ご希望の方は参加申込と併せてお申し込みください。

◇お申し込みについて 申込方法については、別紙《参加申込方法について》をご参照下さい。

●お申し込み開始日 **6月1日(木)10時より インターネットの申し込みサイトからお申し込みください。**

※今集會では、複数の参加者をまとめてお申し込みいただくことができます。

※1台のパソコン等から複数で参加する場合も、お一人ずつ参加申し込みが必要です。

※1台のパソコン等から複数で参加する場合の講座・分科会・市民講座は、同一のものに参加することになります。

※インターネットでのお申し込みをご利用できない方は、現地事務局までご連絡ください。(電話 0995-22-4567)

申込締切日 7月31日(月)まで

◇分科会について

●分科会の参加人数上限は90名となっています(先着順)。定員を超えた場合は受付ができませんのでご注意ください。

●参加ご希望の分科会の人数が上限に達した場合は、他の分科会を選んで申し込んでいただくこととなります。

●分科会は定員がありますので、必ず申し込みいただいた分科会にご参加ください。原則として変更はできません。

●参加できる分科会は申し込みされた分科会のみです。3日と10日の両方に参加することはできませんのでご注意ください。

●分科会に参加される方はできるだけ各自の端末からご参加ください。

◇参加方法について

①「第51回九州保育園団体合同研究集会 鹿児島集会 提案集」を8月中旬以降にお送り致します。

②提案集には、開会集会・記念講演・講座・分科会・市民講座・閉会集会のすべてのzoomIDとパスワードが記載されています。

提案集の集会案内にしたがって、各自でID・パスワード等をご確認のうえ、パソコン等の端末からご参加下さい。

※録画配信企画は、配信期間中に何度でも視聴できます。

◇キャンセルについて

●8月11日(金)までにキャンセルした場合に限り、事務手数料を差し引いて返金致します。

●キャンセルの方法は、申し込み画面に「ログイン」して、「変更・取消」によりできます。各自で操作してキャンセルを行ってください。

●8月12日(土)以降はキャンセルができません。

◇お問い合わせ先について

■お問い合わせ先

「名鉄観光サービス株式会社 福岡支店」

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5 紙与博多ビル内 TEL:092-451-8811 FAX:092-432-3600 担当:井浦・佐藤

「子育てネットワークかごしま(現地事務局 さくらの里こども園)」担当:吾孫子(アビコ)

〒895-2507 伊佐市大口大田58-1 TEL:0995-22-4567(事務局転送) FAX:0995-22-2953 mail:satohoiuken@gmail.com

後援 鹿児島県保育連合会・鹿児島県私立幼稚園協会・鹿児島市私立幼稚園協会・鹿児島県発達支援通園事業連絡協議会・鹿児島子ども研究センター
鹿児島県(申請中)・鹿児島市・薩摩川内市(申請中)・霧島市(申請中)・伊佐市(申請中)・鹿屋市(申請中)・志布志市(申請中)・垂水市(申請中)
曾於市(申請中)・奄美市(申請中)・湧水町(申請中)・大崎町(申請中)・東串良町(申請中)
NHK鹿児島放送(申請中)・鹿児島テレビ放送(KTS)・鹿児島読売テレビ(KYT)・鹿児島放送(KKB)・南日本放送(MBC)・南日本新聞社

主催:第51回九州保育園団体合同研究集会 鹿児島集会実行委員会

〒895-2507 鹿児島県伊佐市大口大田58-1 子育てネットワークかごしま(事務局 さくらの里こども園)

TEL:0995-22-4567 FAX:0995-22-2953 事務局長 吾孫子 幹